

平成 30 年 11 月 4 日  
 学校法人 重里学園  
 日本分析化学専門学校

## 第 57 回 道頓堀川水質調査結果

### 1. 試料採取

日時：平成 30 年 8 月 22 日（水） 午前 9 時  
 場所：道頓堀川流域の 3 地点 湊町リバープレイス付近(四ツ橋筋)、道頓堀橋(御堂筋)、  
 日本橋(堺筋)

天候：晴れ  
 気温：37℃

### 2. 判定基準

#### 1) 環境面：環境省「生活環境の保全に関わる環境基準」

※ただし、道頓堀川（全域）は平成 15 年 5 月の大阪府の公告により、公共用水の水域では B 類への適合を達成目標とされているので、その基準に基づいて評価を行った。

表 1. 生活環境の保全に関する環境基準（河川）

今回測定した項目

類型	AA	A	B	C	D	E
利用目的の適応性	水道 1 級 <sup>※4</sup> 、自然環境保全 <sup>※3</sup> 及び A 以下の欄に掲げるもの	水道 2 級 <sup>※4</sup> 、水産 1 級 <sup>※5</sup> 、水浴及び B 以下の欄に掲げるもの	水道 3 級 <sup>※4</sup> 、水産 2 級 <sup>※5</sup> 及び C 以下の欄に掲げるもの	水産 3 級 <sup>※5</sup> 、工業用水 1 級 <sup>※6</sup> 及び D 以下の欄に掲げるもの	工業用水 2 級 <sup>※6</sup> 、農業用水及び E の欄に掲げるもの	工業用水 3 級 <sup>※6</sup> 、環境保全 <sup>※7</sup>
水素イオン濃度 <sup>※8</sup> (pH)	6.5 以上 8.5 以下	6.5 以上 8.5 以下	6.5 以上 8.5 以下	6.5 以上 8.5 以下	6.0 以上 8.5 以下	6.0 以上 8.5 以下
生物化学的酸素要求量 (BOD)	1mg/L 以下	2mg/L 以下	3mg/L 以下	5mg/L 以下	8mg/L 以下	10mg/L 以下
溶存酸素量 (DO)	7.5mg/L 以上	7.5mg/L 以上	5mg/L 以上	5mg/L 以上	2mg/L 以上	2mg/L 以上
大腸菌群数	50MPN/ 100mL 以下	1,000MPN/ 100mL 以下	5,000MPN/ 100mL 以下	—	—	—
浮遊物質 (SS)	25mg/L 以下	25mg/L 以下	25mg/L 以下	50mg/L 以下	100mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと

- ※1 基準値は、日間平均値とする。(海域もこれに準ずる)
- 2 農業用利水点については、水素イオン濃度 6.0 以上 7.5 以下、溶存酸素量 5mg/L 以上とする。
  - 3 自然環境保全：自然探勝等の環境保全。
  - 4 水道 1 級：濾過等による簡易な浄水操作を行うもの。  
2 級：沈殿濾過等による通常の浄水操作を行うもの。  
3 級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの。
  - 5 水産 1 級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産 2 級及び水産 3 級の水産生物用。  
2 級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産 3 級の水産生物用。  
3 級：コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用。
  - 6 工業用水 1 級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの。  
2 級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの。  
3 級：特殊な浄水操作を行うもの。
  - 7 環境保全：国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む)において不快感を生じない限度。
  - 8 pH(ピーエイチ、ペーハー)と水素イオン濃度とは次の関係がある。  

$$pH = -\log_{10}[\text{水素イオン濃度}]$$

$$pH < 7 \text{ 酸性} \quad pH = 7 \text{ 中性} \quad pH > 7 \text{ アルカリ性}$$

2) 衛生面：厚生労働省「遊泳プール水質基準」

表 2. 遊泳プール水質基準

今回測定した項目

項目	基準値
水素イオン濃度 (pH)	5.8 以上 8.6 以下
大腸菌群数	検出されないこと
一般細菌	200CFU/mL 以下
濁度	2度以下
過マンガン酸カリウム消費量 (COD)	12mg/L 以下
遊離残留塩素濃度	0.4mg/L 以上 1.0mg/L 以下

3. 測定結果および総合評価

今回測定を行った結果及び総合評価、解説を昨年度同時期に実施した結果と共に表 3 に示す。

昨年度測定日時 平成 29 年 8 月 16 日 (土) 午前 9 時 天候：晴れ 気温：26.9℃)

表3. 水質測定結果

項目	測定方法		日本分析化学専門学校の分析結果			総合評価	解説
			湊町 リバープレイ ス (四ツ橋筋)	道頓堀橋 (御堂筋)	日本橋 (堺筋)		
水温	アルコール温度計	今回	28°C	27°C	28°C	【環境面】 基準なし 【衛生面】 基準なし	全地点において、前回と比べて1～3°C上がっていた。
		昨年 8月	27°C	25°C	25°C		
pH	pHメーター	今回	5.4	5.7	6.2	【環境面】 B類基準値：6.5～8.5 全ての地点で基準値を 満たしていなかった。 【衛生面】 基準値：5.8～8.6 日本橋のみ基準値を満 たしている。	環境面では全ての地点で 基準値を満たしていなか った。 前年度同時期と比較する と、全ての地点で値が下 がっていた。 pHの日中の挙動範囲内 と考えられる。 また、衛生面は日本橋のみ 基準値内であった。
		昨年 8月	6.3	6.4	6.3		
濁度	上水試験法 (透過光濁 度)	今回	3	7	3	【環境面】 基準なし 【衛生面】 基準値：2度以下 全ての地点で基準値を 満たしていない。	環境面での基準値はない。 衛生面では、全ての地点が 基準値を満たしていなか った。また、湊町以外の地 点で昨年度の値より高い 値となった。
		昨年 8月	3	1	1		
BOD	JIS K 0102	今回	0.22 mg/L	1.40 mg/L	0.87 mg/L	【環境面】 B類基準値：3mg/L 以 下 全ての地点で基準値を 満たしていた。	BODとは、水中に存在す る有機物が分解される間 に消費される酸素量のこと であり、値が高いほど生 分解性有機物が多く、一般 に汚染が進んでいると言 われている。

		昨年 8月	0.7 mg/L	0.8 mg/L	0.5 mg/L	【衛生面】基準なし	環境基準はすべての地点 で基準値を満たしていた。 但し、道頓堀と日本橋では 昨年度より増加していた。
項目	測定方法	日本分析化学専門学校の分析結果			総合評価	解説	
		湊町 リバープレイ ス (四ツ橋筋)	道頓堀橋 (御堂筋)	日本橋 (堺筋)			
D O	JIS K 0102	今回	4.24 mg/L	4.60 mg/L	4.44 mg/L	【環境面】 B類基準値：5mg/L以上 全ての地点で基準値を 満たしていなかった。	DOとは溶存酸素といい、水 中に溶け込んだ酸素の量を表 している。つまり、この値が 低ければ低いほど魚が住みに くく、嫌気性菌が繁殖しやす い環境といえる。 昨年度と比較すると、全地点 で増加していたが、全ての地 点で基準値を満たしていなか った。
		昨年 8月	4.1 mg/L	3.7 mg/L	4.1 mg/L	【衛生面】基準なし	
大 腸 菌 群	最確数法 (衛生試験法)	今回	1100 MPN/100 mL	2200 MPN/100 mL	1700 MPN/100 mL	【環境面】 B類基準値： 5,000MPN/100mL以下 全地点で基準値を満た していた。	環境面では、全地点で基準を 満たしていたが、昨年度と比 較すると、道頓堀と日本橋で は増加していた。  また、衛生面については、大 腸菌が検出されたため、 <u>全</u> <u>て</u> の地点で遊泳には不適であ る。
		昨年 8月	2200 MPN/100 mL	1410 MPN/100 mL	490 MPN/100 mL	【衛生面】 基準値：検出されないこ と すべての地点において基 準値を満たしていない。	
一 般 細 菌	JIS K 0102	今回	120 CFU/mL	250 CFU/mL	2200 CFU/mL	【環境面】基準なし	一般細菌については、環境面 での基準はない。 衛生面では、湊町のみが基準 値を満たしている。  しかし、昨年度と比べると日 本橋で10倍以上増加してい た。なお、湊町では減少して いた。
		昨年 8月	300 CFU/mL	250 CFU/mL	190 CFU/mL	【衛生面】 基準値：200CFU/mL以下 湊町のみ基準値を満たし ている。	

#### 4. 総評

前回に引き続き「生活環境の保全に関わる環境基準」及び「遊泳プール水質基準」に定められている項目について調査し、道頓堀川の環境汚染度を測るとともに、泳ぐことが可能な水質になっているかどうかを比較検討しました。

今回の調査結果で、各基準値を満たしていなかった地点は以下の通りでした。

##### 1) 生活環境の保全に関わる環境基準（環境面）

- ① p H : 湊町リバープレイス、道頓堀橋、日本橋
- ② B O D : なし
- ③ D O : 湊町リバープレイス、道頓堀橋、日本橋

##### 2) 遊泳プール水質基準（衛生面）

- ① 濁 度 : 湊町リバープレイス、道頓堀橋、日本橋
- ② 大腸菌群数 : 湊町リバープレイス、道頓堀橋、日本橋
- ③ 一般細菌 : 道頓堀橋、日本橋

昨年度の調査結果と比較すると全地点において、D Oについては増加していました。

また、今回の調査結果によると濁度と大腸菌群数については全ての地点で、一般細菌については日本橋と道頓堀橋で衛生面の基準値を満たしておらず、これまでの調査結果と同様に「遊泳プール水質基準に不適合」となりました。したがって、調査地点の水質は遊泳を目的とする用途に向かないと言えます。

今後も、継続して調査し、水質の経年変化を考察して参ります。